

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場会社名 クニミネ工業株式会社
 コード番号 5388 URL <http://www.kunimine.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営戦略部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 國峯 保彦
 (氏名) 小山 孝志

TEL 03-3866-7255

上場取引所 大

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	2,372	△1.5	226	169.5	268	130.4	159	256.1
23年3月期第1四半期	2,409	17.9	83	—	116	—	44	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 186百万円 (752.5%) 23年3月期第1四半期 21百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	13.06	—
23年3月期第1四半期	3.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	12,624	9,477	74.6
23年3月期	12,809	9,413	73.1

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 9,422百万円 23年3月期 9,362百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,709	△3.3	178	△21.3	241	△22.4	147	△21.2	12.00
通期	10,360	△3.2	617	△36.3	742	△36.9	446	49.0	36.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	14,450,000 株	23年3月期	14,450,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	2,204,996 株	23年3月期	2,204,996 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	12,245,004 株	23年3月期1Q	12,246,329 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【添付資料】

目次

1. サマリー情報（その他）に関する事項	P 1
(1) 当四半期中における重要な子会社の異動	P 1
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P 1
2. 連結業績予想に関する定性的情報	P 1
3. 連結経営成績に関する定性的情報	P 2
4. 連結財務諸表等	P 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 5
(3) 継続企業の前提に関する注記	P 7
(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記	P 7
(5) セグメント情報等	P 7
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P 7

1. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更

該当事項はありません。

② ①以外の会計方針の変更

該当事項はありません。

③ 会計上の見積りの変更

該当事項はありません。

④ 修正再表示

該当事項はありません。

2. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期中における業績は好調に推移しておりますが、今後の我が国経済の先行きが不透明な状況の中、7月1日発動された電力使用制限令等により第2四半期中における工場の稼働率の低下が見込まれる等、当社グループを取りまく環境は引き続き厳しいものが継続すると考えられ、前回発表（平成23年5月13日）の業績予想は当面の間据え置くものとし、第2四半期の状況をみて変更の必要がある場合にはあらためてご報告いたします。

3. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における我が国経済は、東日本大震災からの時間経過とともに、被災企業の復旧進展や個人消費に下げ止まりが見られる等持ち直しの動きが強まっているものの、米国や中国を中心とした世界経済の減速や電力不足による経済活動制約の恐れ等、先行き不透明感が続く状況となりました。

このような状況下、当社グループにおきましては、主要納入先のうち、鋳物業界は、震災の影響による部品不足から減産していた自動車生産台数が急回復してきておりますが、土木建築業界におきましては、住宅着工件数は回復してきているものの都市土木や公共工事は減少しており、全体として厳しい状況下で推移いたしました。

このような背景のもと、当社グループは、震災の影響からの早期復旧や電力不足問題等への対応を進めるとともに、生産効率の向上や原材料の見直し等コストダウンの諸施策を進め、売上高および利益の確保に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、土木建築関係向けを中心としたベントナイト事業部門の落ち込みの影響により、売上高は23億72百万円（前年同期比 1.5%減）と減少したものの、アグリ事業部門や化成品事業部門が好調に推移した他、固定費の削減効果等もあり、営業利益は2億26百万円（同 169.5%増）となりました。経常利益につきましては、受取配当金22百万円等により2億68百万円（同 130.4%増）となり、四半期純利益につきましては、前期特別損失として計上した資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額26百万円がなくなったこと等により、1億59百万円（同 256.1%増）となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ベントナイト事業

鋳物関係につきましては、主納入先である自動車業界において、生産台数が震災による部品不足から大幅に落ち込み、急回復はしているもののその影響は免れず、建機等において金融引き締めの影響で減速している中国を除くその他の新興国や資源国向けの輸出が引き続き好調でありましたが、減収となりました。土木建築関係につきましては、住宅着工件数はマンションを中心に回復してきているものの地域的な偏りがあり、前年同期にありました地熱関係の需要がなくなったこと等により、大幅な減収となりました。ペット関係につきましても、厳しい価格競争が続く中、採算性を重視、OEM品の取扱量の減少もあり、減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は16億11百万円（前年同期比 7.9%減）、セグメント利益は1億83百万円（同10.3%増）となりました。

② アグリ事業

主力受託品目である溶出制御剤は前年同期と同様に当第1四半期における生産はなかったものの、東日本大震災の影響により前期3月に予定していた除草剤等の生産が当期に繰り越されたこと、また、農薬用基剤販売も前倒しに推移したこと等により、大幅な増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は4億21百万円（同24.8%増）、セグメント利益は71百万円（前年同期はセグメント損失23百万円）となりました。

③ 化成品事業

ファインケミカルのうちクニピアが輸出向けを中心に好調を維持、止水材につきましても建築物が震災による資材調達難からの遅れはあるもののほぼ横這いで推移し、厳しい競争で減少が続く環境保全処理剤を補い、全体としては増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は3億34百万円（同 5.8%増）、セグメント利益は51百万円（同 63.0%増）となりました。

④ 環境事業

環境関連プラントの運営受託業務において請負金額が減少した他、下水汚泥焼却灰から放射性物質が検出され、新たな取り組みが制限される状態となり、減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は4百万円（同 7.9%減）、セグメント損失は6百万円（前年同期はセグメント損失7百万円）となりました。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 3月31日)	当第1 四半期連結会計期間 (平成23年 6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,849,268	2,657,198
受取手形及び売掛金	3,151,319	2,811,897
商品及び製品	282,746	374,357
仕掛品	211,257	252,899
原材料及び貯蔵品	723,157	1,006,026
その他	146,634	78,477
貸倒引当金	△22,333	△13,639
流動資産合計	7,342,050	7,167,217
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,227,345	1,208,626
機械装置及び運搬具（純額）	1,025,731	985,471
土地	1,636,236	1,636,236
リース資産（純額）	138,422	122,916
その他（純額）	218,835	227,669
有形固定資産合計	4,246,571	4,180,919
無形固定資産	120,315	113,014
投資その他の資産	1,100,780	1,163,731
固定資産合計	5,467,666	5,457,665
資産合計	12,809,717	12,624,882
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	549,403	580,463
短期借入金	707,000	808,500
未払法人税等	308,950	37,084
賞与引当金	130,043	59,773
その他	624,226	592,758
流動負債合計	2,319,624	2,078,580
固定負債		
退職給付引当金	11,914	11,452
閉山費用引当金	466,853	469,058
環境対策引当金	3,200	3,200
負ののれん	110,254	96,473
資産除去債務	23,494	23,494
その他	460,971	465,471
固定負債合計	1,076,689	1,069,151
負債合計	3,396,313	3,147,731

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617,800	1,617,800
資本剰余金	2,223,224	2,223,224
利益剰余金	6,045,633	6,083,055
自己株式	△524,131	△524,131
株主資本合計	9,362,526	9,399,948
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	61,266	81,547
為替換算調整勘定	△60,886	△58,865
その他の包括利益累計額合計	379	22,681
少数株主持分	50,497	54,520
純資産合計	9,413,404	9,477,151
負債純資産合計	12,809,717	12,624,882

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	2,409,319	2,372,620
売上原価	1,695,020	1,551,714
売上総利益	714,298	820,905
販売費及び一般管理費	630,305	594,582
営業利益	83,993	226,322
営業外収益		
受取利息	248	233
受取配当金	22,404	22,575
負ののれん償却額	13,781	13,781
貸倒引当金戻入額	—	8,694
その他	12,710	9,833
営業外収益合計	49,145	55,120
営業外費用		
支払利息	5,583	4,084
為替差損	9,205	7,939
その他	1,751	743
営業外費用合計	16,540	12,768
経常利益	116,598	268,674
特別利益		
固定資産売却益	1,425	762
貸倒引当金戻入額	5,383	—
その他	60	—
特別利益合計	6,869	762
特別損失		
固定資産除却損	2,058	144
災害による損失	—	6,035
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	26,583	—
その他	3,000	—
特別損失合計	31,641	6,180
税金等調整前四半期純利益	91,825	263,256
法人税、住民税及び事業税	14,056	36,215
法人税等調整額	28,495	63,955
法人税等合計	42,551	100,170
少数株主損益調整前四半期純利益	49,274	163,086
少数株主利益	4,373	3,214
四半期純利益	44,901	159,871

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	49,274	163,086
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△27,531	20,280
為替換算調整勘定	97	2,830
その他の包括利益合計	△27,433	23,110
四半期包括利益	21,840	186,196
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,439	182,173
少数株主に係る四半期包括利益	4,401	4,023

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び前第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
減価償却費	160,626千円	146,202千円
負ののれんの償却額	13,781千円	13,781千円

(5) セグメント情報等

[セグメント情報]

I 前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	ベントナイト事業	アグリ事業	化成品事業	環境事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客に対する売上高	1,750,215	338,020	316,280	4,802	2,409,319	—	2,409,319
セグメント間の内部売上高又は振替高	15,176	—	—	—	15,176	(△ 15,176)	—
計	1,765,392	338,020	316,280	4,802	2,424,496	(△ 15,176)	2,409,319
セグメント利益	166,724	△ 23,451	31,347	△ 7,487	167,133	(△ 83,140)	83,993

(注) 1. セグメント利益の調整額△83,140千円には、セグメント間取引消去△291千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△114,374千円及び棚卸資産の調整額31,526千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	ベントナイト事業	アグリ事業	化成品事業	環境事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客に対する売上高	1,611,761	421,966	334,467	4,425	2,372,620	—	2,372,620
セグメント間の内部売上高又は振替高	19,013	—	800	—	19,814	(△ 19,814)	—
計	1,630,775	421,966	335,268	4,425	2,392,434	(△ 19,814)	2,372,620
セグメント利益	183,907	71,646	51,099	△ 6,769	299,883	(△ 73,561)	226,322

(注) 1. セグメント利益の調整額△73,561千円には、セグメント間取引消去9,865千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△114,685千円及び棚卸資産の調整額31,259千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。